

基本情報

指標番号

2184

名称

関節置換術症例の院内感染治療の耐性菌治療割合

分母

関節置換術実施症例のうち院内発症の7日以上点滴抗菌薬治療症例

分子

分母のうち、7日以上耐性菌用点滴治療症例

指標群

感染症

意義

耐性菌発生と耐性菌治療モニタリング。

年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した、在院日数が11日以上症例を対象とする
2. このうち、入院当日に抗菌薬の内服及び点滴治療のない症例。抗菌薬の内服あるいは点滴投与はEFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードでの算定 ※薬価基準コード上7桁について、上2~4ケタ情報を利用、「xxx」は001~699として内服薬（001~399）・注射薬（400~699）を指定

薬価基準コード7桁	内容
61**xxx	抗生物質製剤 内服薬・注射薬（xxxは001~699）※ただし6199xxxは除く（ヘリコバクター・ピロリ菌除菌薬）
621*xxx	サルファ剤 内服薬・注射薬（xxxは001~699）
624*xxx	合成抗菌剤 内服薬・注射薬（xxxは001~699）
629*xxx	その他の化学療法剤 内服薬・注射薬（xxxは001~699）

3. このうち、入院当日に手術のない症例。EFファイルのデータ区分（E5、F5、EF5）で50（手術）のレコードが入院当日にはない症例
4. このうち、入院中に点滴抗菌薬が合計7日以上症例。上記2の「xxx」部分が、400~699を注射薬として指定。
投与日数計算は、薬剤種類は問わず、非連続の投与も合計する。例えば、6月3日から6日までセファゾリン点滴投与、6月8日から6月12日までメロペネム点滴投与の症例については、合

計8日間投与、とする。一方で、同日複数種類投与があっても日数のみで計算するため、例えば6月15日から6月20日までペニシリン点滴とアミカシン点滴を併用した場合、日数は6日となるように計算する。

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く
6. このうち、入院中に関節置換術を施行した症例。
様式1の手術フィールド(1~10)いずれかに、下記のいずれかが含まれる症例。K082-2\$ (人工関節抜去術)は含めない

Kコード(\$はワイルドカード) ※K082-2\$は含めない	名称(複数の手術が含まれる)
K081\$	人工骨頭挿入術
K082\$	人工関節置換術
K082-3\$	人工関節再置換術
K082-4\$	自家肋骨肋軟骨関節全置換術
K082-5\$	人工距骨全置換術
K082-6\$	人工股関節摺動面交換術

分子の定義

1. 入院中に点滴での耐性菌治療(下記の薬剤、薬価基準コード7桁に対応するレセ電コード)が7日以上算定されている症例。投与日数の計算は分母での計算と同様。

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○	○	○	
6129400	チゲサイクリン	○	○	○	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンサルホン酸ナトリウム	○	○	○	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○	○	○	○
6249402	テジゾリドリン酸エステル					○	○	○

その他

薬剤一覧の出力

はい

リスク調整因子の条件

なし

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

昇順

測定上の限界・解釈上の注意

1. 院外発生の感染症症例が含まれる可能性がある。
2. 内服薬への切り替えは本指標には含まれない。
3. 本指標では、耐性菌の発生が多い場合と、耐性菌用薬の使用が多い場合に、指標値が高くなるため、複数の要因を併せて解釈する必要がある。
4. 入院当日の手術症例は、予防的抗菌薬の使用と感染症治療による抗菌薬の使用が区別できないため、本指標では除外している。また、本指標では測定の簡便のため、術後の抗菌薬に限定した解析はしていないため、術前の治療も含まれる可能性がある。
5. 本指標では、整形外科術後に問題となる MRSA 感染への治療の他、耐性菌に対する抗菌薬を含めた指標としている。術部に関連する感染の他、肺炎などの治療も分子に含まれる。

参考資料

参考値

参考資料